

## 兵庫県立神戸北高等学校 令和8年度学校経営の重点等

### 校訓、教育目標、めざす生徒像及び重点的な取組

#### (1) 校訓〈創立当時の文言〉

誠実：他人を尊ぶとは、自己に誠実であることにより始まる。すべての人が誠実であるところに、人間関係が成り立たねばならない。本校は、まず誠実な人づくりに力を入れたい。

規律：すべての社会に規律がある。しかも、これが民主的につくられ、民主的に守られることが大切である。本校では、規律を守り、責任を重んじる教育方針を貫きたい。

信愛：平和な世界、平和な社会成立の根本には、相互の信愛が必要である。本校では、教職員間、生徒間、教職員生徒間でそれぞれの関係が信愛で結ばれるよう努力したい。

実践：本校では基礎・基本を大切にし、豊かな人間性と健全なる精神を養い、社会の有為な形成者としての必要な資質を培う。学習面でも、生活面でも、学校生活のあらゆる面で強い実践力をもって進みたい。

#### (2) 教育目標とめざす生徒像

##### ア スクール・ミッション

「誠実 規律 信愛 実践」の理念のもと、学習面・生活面での基礎基本を身につけるとともに、自尊感情と生きる力を備え、自ら判断して行動し、社会に貢献できる人材を育成する。

##### イ スクール・ポリシー

##### ① 育成をめざす資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

- ・ 何事にも自主的・主体的に取り組むと共に、共働精神に富み協調性豊かな生徒を育成する。
- ・ 他者に対して思いやりの心を持つ等、人権意識を尊重し、切磋琢磨できる生徒を育成する。
- ・ 社会問題に対して興味関心を持ち、地域の課題解決に取り組む等、積極的に社会に参画できる生徒を育成する。

##### ② 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

- ・ 学び方の基礎・基本の定着を図るため、少人数授業の充実を図る。
- ・ 特色類型を含め、生徒の興味・関心や多様な進路に対応した選択科目を設定する。
- ・ 地域、関係機関と連携し、学校行事、社会貢献活動等を通じて様々な体験活動を実践する。
- ・ ICT機器等を活用し、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業づくりを実践する。
- ・ 英語検定・漢字検定等の資格取得を効果的に活用し、学力向上を図る。

##### ③ 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

- ・ 基礎・基本を大切にし、目標に向かって地道に努力し続けることができる生徒を募集する。
- ・ 夢や志の実現に向け、忍耐強く取り組む生徒を募集する。
- ・ 自己実現に向けて、何事にも果敢にチャレンジする生徒を募集する。

## ウ 教育目標

「絆」を深め、「在りたい未来」を創造する力を身につけた、日本の明日を担うところ豊かな生徒の育成。

## エ めざす生徒像

- ① 社会に貢献できる生徒。
- ② 自尊感情を持ち、生きる力を身につけた生徒。
- ③ 基礎基本を身につけ、自ら判断して行動できる生徒。

## (3) 重点的な取組

### 「SDGs に基づいた教育活動」

本校で行う全ての教育活動・行事について、国連の SDGs 17 の各目標との関連を確認し、日本の SDGs 達成に貢献する意識を持つ。



## 1 学校経営の重点

### (1) 開かれた学校づくり

- ア 地域の人的・物的資源を活用するとともに、地域に開かれた学校づくりを進める。
- イ 保・小・中・自治会と連携し、地域の拠点として各行事に協力・参加する。
- ウ 学校関係者評価を活用し、学校の活性化につなげる。

### (2) 生徒の自主・自律・共生の育成

- ア 生活習慣を正し、校内外における挨拶を含めたマナー指導を徹底させることで、高校生としての姿を確立させる。
- イ 学業と部活動を両立させ、バランスのとれた高校生活を過ごさせる。
- ウ 人権教育の充実を図り、ともに生きる心を育む。

### (3) 特色化の一層の推進

- ア 福祉ボランティア類型の一層の充実を図る。
- イ 幼児・児童や高齢者の方々との異世代交流を進め、コミュニケーション力を育む。
- ウ 地域に根ざした高校として、地域との協働による取り組みをさらに進める。

### (4) 授業第一主義と確かな学力の定着

- ア 確かな学力を培う「魅力ある授業」を創造する。
- イ 予習・授業・復習の学習サイクルを定着させる。
- ウ 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を育成する。

### (5) 安心して過ごせる安全な学校づくり

- ア 家庭・地域・関係機関との連携を図り、生徒を見守る体制を構築する。
- イ より実践的な安全教育・防災教育を行い、教職員・生徒ともに危機対応力を高める。
- ウ 環境教育を一層推進するとともに環境美化に努め、施設・設備を大切に使用する公共心を育む。

### (6) 活力ある組織と明るく働きやすい職場づくり

- ア 報告・連絡・相談を密にし、風通しのよい職場にする。
- イ 勤務を適正化することで、教職員が心身ともに健康で、生徒と向き合う時間を確保し、教育活動をさらに充実させる。

ウ 服務規律を確保し、県民の信頼を損なわないようにするとともに教職員の資質・能力の向上に努める。

(7) 発展的統合に関する取組

ア 貫校行事委員会を設置し、行事の企画立案を検討する。

イ 北神戸総合高等学校及び神戸甲北高等学校と交流し、在校生の学校生活を充実させる。

## 2 教科指導および生徒指導・支援（特別教育活動を含む）の重点

(1) 教科指導の重点

ア 基本方針

基礎・基本の定着を図り、自ら学び、自ら考える力と、生涯にわたって学び続ける自己教育力を育成し、「生きる力」を持った魅力ある生徒を育成する。

イ 学習指導の充実

- ① 教育内容の基礎・基本を確実に定着させるとともに、体験的な学習やＩＣＴ機器の活用を取り入れ、学ぶことの楽しさや達成感が味わえる授業の実現を目指す。
- ② 規律ある授業を通じて、自学自習の姿勢を確立させるとともに、新学習指導要領においてきめ細かく個を生かす学習指導を実践する。
- ③ 学習の主体は生徒自身であることを認識させ、自己の人生目標を探究し、生涯を通じ積極的に学び続けようとする意欲を醸成する。

(2) 生徒指導・支援の重点

ア 基本方針

生徒の規範意識と自己肯定感を高め、可能性を引き出し、社会でたくましく生きていくことができる能力を育む。そのためには、教職員と生徒とが愛情と信頼で結ばれたうえで、生徒一人一人を大切に作るきめ細やかな指導・支援に努める。

イ 生徒指導・支援の徹底

- ① 個人面談や家庭との連携を密にし、生徒指導・支援の徹底を図る。
- ② 基本的生活習慣の確立と集団の一員としての自覚を高め、規律を遵守する態度を養う。
- ③ 在り方・生き方を深く考えるとともに、自ら判断して行動し、その結果については責任が取れる自律した生徒を育てる。

ウ 進路指導の充実

- ① 教職員の生徒理解、生徒の自己理解を深めるなかで、適性、意欲、興味・関心を進路設計に役立たせ、自己実現を図らせる。
- ② 能力・適性に応じた進路選択を進めるためキャリアパスポートの活用等、情報の収集及びその効果的な利用を図り、各自の早期進路決定を促す。

エ 特別活動の促進

- ① 学校行事への積極的な参加により、愛校心を高め、責任感を自覚させるとともに、集団活動を通じて、望ましい社会性を培う。
- ② ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事・部活動を活性化し、生徒の自主性を高め、積極的な学校生活の中に堅実な校風を樹立させる。

### 3 健康管理に関する指導の重点

- (1) 各種健診等を実施し、健康の保持増進と自己管理ができる能力を養う。
- (2) 講演会等、様々な教育活動を通して命を大切にすることを育む教育をすすめる。
- (3) 教育相談（こころの相談室）を行い、心の健康と人格の成長への援助を図る。健康的で快適な学習環境の整備、安全衛生管理を徹底する。

### 4 研究テーマ

「高校生心のサポートシステム」研究開発校

ア テーマ

「自殺予防に関する重層的な支援に向けた実践・研究」

イ 方針

- ① 体験活動の質的向上を図り、生徒の自己有用感や自尊感情を高める。
- ② 様々な事情を抱える生徒に対応するため、教員が授業の改善を図るとともに、生徒の思いを引き出し、受け止め、対応するためのスキルを高める。
- ③ 生徒が自身の心の健康に留意し、「命の大切さ」を理解する姿勢を育む。

「ジョブサポート事業」研究開発校

ア テーマ

「就職指導の充実」

～生徒の希望と実態の不一致の改善及び就職に対する意識の向上～

イ 方針

- ① 1年、2年の段階でのキャリア教育の充実を図りそれを基盤として、3年でのキャリア教育につなげる。
- ② 生徒の希望の把握と実態の不一致の改善及び就職に対する意識の向上の取り組みの充実を図る。
- ③ 離職率抑制のため定期的に就労状況を確認する等、課題解決に向けた方策を実践する。

### 5 県立高校ふるさと共創プロジェクト

- (1) 地域の環境保全活動

里山づくり

23年目を迎える本校の地域交流行事である。地域のボランティアの方々のご指導のもと、里山に関して学び、里山整備の一翼を担う。特色類型生徒や部活動部員を中心に学期に2回程度、年間6回の清掃及び整備作業を実施する。

- (2) 地域活動参加

ア 地域清掃等の美化活動

唐櫃地区の学校園合同で、「クリーンキャンペーン」を実施する。

イ あいさつ運動

登校時あいさつ運動の実施と地域の「からと あいさつ運動」へ参加する。

ウ 地域イベント

からとの夏祭り、たこあげ大会、もちつき大会等の地域の行事に、生徒会、ボランティア委員会、運動部等の生徒が参加する。

(3) 唐櫃台地域合同防災活動

「からとは一つ」の言葉のもとに、からと保育所、唐櫃小学校、唐櫃中学校および唐櫃台防災コミュニティと連携し、北消防署および北消防団有野支団の協力により、11月に本校を舞台に大規模な合同防災訓練を実施する。

(4) 就業体験実習

医療機関でのふれあい看護体験、大学と連携し保育施設での体験、ワークキャンプで就業体験実習を行う。

事前学習として、進路適性検査、生徒・保護者との面談、参加の心構えの指導等を実施。事後学習としては、実習のまとめを作成して報告する。

(5) 進路講演会

職業人、専門学校教員、キャリア・アドバイザー等を招き、職業や進路選択への理解を深める。

(6) 保育所での体験活動

保育所で実際の育児の業務を体験する。また、自分たちの考えた保育授業を実際の保育現場で発表する。

## 6 高校生キャリアノートの活用に関する内容

(1) 内容の共通理解

学年の進路係を中心に、活用計画を立てる。

(2) 活用目標

学年において、LHRや総合的な探究の時間を利用して活用する。

## 7 県立高校魅力アップ推進事業

(1) 特別非常勤講師による講義

外部講師による講義を設定し、幼児教育や介護について理解を深める。

(2) 地域活性化ボランティア

地域と連携したボランティア活動等を実施することで、社会の一員である自覚と責任感を養うとともに、奉仕の精神や自己の生き方在り方について考える力を身に付けさせる。

(3) 近隣小・中学校との部活動を通じた交流・連携

からとクリスマスコンサートの実施

唐櫃小学校、唐櫃中学校及び本校の吹奏楽部でジョイントコンサートを実施し、近隣の方々に音楽を楽しんでいただき、音楽を通じて多世代間の文化交流をはかる。